

91 号 地域開発みちの会



みちの会 だより

<http://www.aichi.michinokai.cc> 発行責任者 森田 登喜子

■第 2 回全体会を開催しました。6 月 27 日(火)東海市立市民活動センター (ソラ)にて、22 名出席
<議題>

1. プロジェクト事業企画書

今年度は 3 件の事業申請があり全件とも採択されました。(詳細は下の表をご覧ください)

2. 議員と語る会について

これまで議員と語る会をしたなかで、今回は今まで以上になぜ議員と語るのか?ということに焦点を当てて話しあいが行われました。開催日、開催場所は 10 月 30 日(月)東海市立市民活動センター」で開催します。ワークショップのテーマは『男女共同参画のまちづくり』です。

2 名の話者提供者の話の後に意見交換を行う予定です。

3. ウィルあいちフェスタについて

◆ 日時 11 月 18 日(土) 10:00~12:00

◆ 場所 ウィルあいちセミナールーム 1, 2 (予定)

◆ テーマ 井戸端会議Ⅲ

話者提供者は、椿 佳代さん(防災)、山中 和子さん(起業)、石久 子さん(知多市南粕谷ハウス事務局長)の 3 名です。それぞれの経験、視点から話者提供をしていただきます。



4. フォーラムについて

複数の候補の中から、運営委員の支持の多かった人から交渉中

■プロジェクト事業

事業名	内容・現況
日本女性会議 2017 とまこまい に参加	10 月 13 日~15 日開催、2 名参加予定。最新の「男女共同参画推進」の情報を得る。参加会員の親睦を図る。
学習会	6 月 19 日 講師に中島 美幸氏 (P. 2 参照)
みちの会調査隊	会員の思いや願いを把握し、これからの活動について持続可能な方法を考えるために全会員にアンケート調査をする。

■第 2 回全体会 第 2 部

「議員と語る会」の開催に向けて 4 グループに分かれて話し合い

◆グループ分け 隣接する市町で分けると比較でき刺激を与えられる

ブロックごとでは、ブロック会単位でできるので地域を混ぜると好い

◆必要性 政策の場に「理想を現実化するため」意見を持って行ってもらうための機会

◆効果的な方法 議員が行政に働きかけられるような内容 議員の意見が実行されたかを検証
1 グループ 1 つのテーマの方が施策につながる

テーマについて会員がしっかり勉強しておく 質問を前もって考えておく

プロジェクト事業 学習会

6 月 19 日(月) 13:30～15:30
東海市立市民活動センター (ソラト)

「人生 100 年時代」をどう生きるか？

～男女共同参画の歩みとこれから～

講師：愛知淑徳大学講師 中島美幸 氏

中島美幸氏を講師に招いて、プロジェクト企画の「学習会」を開催した。会員 15 名が参加。1 時間半の講義の後、質問や意見交換をし、最後に会員に簡単なアンケートと感想を書いてもらった。参加者の年代は、60 代 8 人、50 代 5 人、40 代と 70 代各 1 人。「人生 100 年時代」について聞いたことがあった人は、11 人。

平均寿命という指標で、2007 年に生まれた子どもの半分以上が、先進国の多くで 100 年以上、日本が一番長くて 107 歳まで生きると予測された。今 50 歳未満の日本人が 100 年以上生きる時代で定年後 40 年もあり、これまでの「教育→仕事→引退」という「3 ステージ」の生き方はもう通用しない。この「人生 100 年時代」を私たちはどう生きるか？自分たちの長寿化がぐっと身近な問題になった。まずは自らの多様性に気づき認めて自らが変わる！

★女子差別撤廃条約

・1979 年に国連で採択され、1985 年に日本が批准
第 1 条 (女子差別の定義) 「女子に対する差別」
とは、性にに基づく区別、排除又は制限であつて…
第 2 条 (締約国の差別撤廃義務)

参照：日本弁護士連合会『国連女性差別撤廃委員会
総括所見の活かし方と今後の課題』2017. 4

・日本は、国連から、性による区別は差別であり
女性が人生のすべての領域における直接的及び
間接的差別から確実に保護されるよう立法に
おいて、至急、女性に対する差別の定義を採用
するよう要求されている。

★重点方針専門委員会(2017. 3. 30) 提出資料

参照：家本賢太郎 (株) クララオンラインHP より

・男性の暮らし方・意識の変革と働き方改革、女性活躍
の推進は表裏一体であり、連動して施策を進めていく必
要がある。

★女性の活躍を支える安全・安心な暮らしの実現のため
若年層を対象に性的な暴力の根絶に向けて取組む。

「いわゆるアダルトビデオ出演強要問題・『JK ビジネス』問題等に関する今後の対策」2017. 3

★男性に経済的な安定性を期待する伝統的な結婚観、母親の「ワンオペ育児」

★労働をめぐる環境が長時間労働であり、仕事と家庭を両立しにくい状況

★日本は長子相続のゾンビ直系家族で、〃「家族」の過剰な重視が「家族」を殺す、報告：山本幸子

中島美幸氏の資料

- ①女子差別撤廃条約と日本
- ②女性活躍加速のための重点方針 2017
- ③日本の男女の意識
—「親世代」と大きくは変わっていない？
- ④変わらない要因は……
- ⑤女性の社会参加と政策・社会保障制度
- ⑥「ゾンビ直系家族」エマニュエル・トッド
- ⑦多様性を認め、ロールモデルを増やす



Cブロック活動報告 みんなの縁がわ見学 7月29日(土) 10名参加



Cブロックでは、ブロック会を開催した時に今働く女性に必要としているものは何か？ということ話しあい、その中で出た意見の中で「自分たちが暮らしている地域の中に居場所がないのでは？」ということが疑問点としてでてきました。その反面暮らしている地域の中で一生懸命に居場所作りをしている方も見えるということも見えてきました。「地域の居場所づくりの有効性と男女共同参画社会の実現に寄与する運営アイデアを考える」を活動テーマとし、第一弾として「みんなの縁がわ」を訪問しました。

常滑にある元酒屋を使ったコミュニティハウスです。主宰者である渡辺美佐さんにお話しを伺いました。きっかけは実家である酒屋がやればやるほど赤字になり、店を閉めるということに。2年間ぐらい貸物件としてお店を出していましたが、なかなか借り手が見つからず。「なら自分でなにかしよう！！」と思ったそうです。けれど、学童保育にしてもデイサービスにしても決まり事が多く経営していくことは難しいと感じたそうです。ならばできることからやろうということになり、今では社協から月に1回サロンをするから借りたいとお話があってサロンを開いたり、知り合いの人がBarを開きたいと言ってビアガーデンをしたり。本当に楽しそうな教室や喫茶・コンサートが目白押しです。

主宰者である美佐さんは若い世代の人から何かやりたいということ、どうしたらそのことを実現できる



るかを考えるそうです。規制などに縛られていない分だけ、自由にやりたいことができるのかもしれませんが。ただその反面、マイナスにならなければいいというぐらいいぎりの線でやられているのが現状だそう。それが今の課題なのかもしれません。

あと補足ですが、SNSのすごさについても語られていました。フェイスブックを見て遠く東京からもライブを見にこられたお客様もいたそうです。今は自分が好きなことならお金を出すという時代。自分

でSNSなどを調べて近郊の市町からもわざわざ来てくれるそうです。

今回縁がわさんにお邪魔して一番感じたことは地域が大好きだという熱い思いでした。

人通りの多いほかの場所でやったらどうかと勧められたこともあったそうですが「生まれ育ったここ、この場所」でなければと、断ったそうです。このこだわりは、知多市の石井久子さんが始めた南粕谷ハウスにもあります。また美佐さんの一番大事にしていることは「みんなが気持ちよくすごせる場」だそうです。これからまだまだ課題もありますが、美佐さんの熱い思いにふれ、これから私達がどのようにしていきたいかを改めて考えさせてくれた時間であったような気がします。



みんなの縁がわ <https://www.facebook.com/minnanoengawa/>



報告者 和田美奈

Dブロック活動報告 女性の視点での防災 防災関連の講演会参加・市町にアンケート



イーブル名古屋主催「熊本の被災地から避難所を考える」に参加して

7月9・23・30日

避難生活を強いられるような災害に見舞われたことは、幸いにもまだない。しかし日本ではさまざまな種類の自然災害が発生している。そのたびに「明日は我が身。心構えは？準備は？」と思うが、いつしか日常生活の中で遠のいてしまう。今回、防災の啓発など情報発信をしてきた方の被災体験や、支援活動から見た避難所の様子などを聴き「自分のもしも」をイメージし、避難生活に必要な事を事前に知っておくことが大切であり、繰り返し学ぶことが安心につながり、冷静に行動できることになる、と改めて重く受け止めた。

女性の避難生活には、困っている事がきちんと伝えられる避難所の体制作りを日頃から発信しておくことが必要であり、まわりへの防災教育・啓発活動の広がりをもっと必要かとも。また被災時でのSNSでは情報源の確認が重要であり、やはり行政からの発信は信頼できる。地域のFM放送も大事な役割を担うようだ。「次のステップ、生活再建を考えること」をする場が避難所である。そうありたいと思った。

避難所運営体験ゲームをやってみた。あわてました。パニックになりました。でもこれが現実に起こりうる事。何度やっても答えは出ないが、そのたびに気づきはあるようだ。いろいろな人が関わることで解決策も変わるであろう。まずは体験してみることだ。

長坂典子

東浦町主催 家族みんなで楽しく防災 講師：近藤ひろ子氏 7月22日



「家族の命を守るために」というサブタイトル。盛り沢山の役に立つお話を伺えました。災害時には想定外の事が必ず起こる。物資を備えるだけでなく、想定外をイメージトレーニングする事。これらが身を守る事に繋がると・・・

都築広子

編集後記

前号発刊より4か月近く経ち、色々な活動がありました。A,Bブロックの活動は掲載できませんでしたが、次号をお楽しみに。



皆さん、参加しましょう！

美浜女性の会「オータムフォーラム」 映画「人生いろどり」	10月28日(土)13:~	美浜町総合運動公園体育館サブアリーナ
議員と語る会	10月30日(月)13:30~16:00	東海市立市民活動センター(ソラト)
ウィルあいちフェスタ あいち女性連携フォーラム	11月18日(土)10:00~11:50 13:00~	ウィルあいち1Fセミナールーム1・2 4F ウィルホール